

機械器具 74 医薬品注入器
一般医療機器 経腸栄養注入セット（JMDN コード：70400000）

E J 連結チューブ

再使用禁止

*【禁忌・禁止】

再使用禁止 [本品はディスポーザブル製品であり、再使用による機能低下、交差感染のおそれがある。]

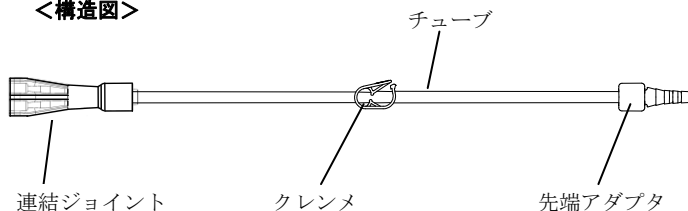
* 滅菌禁止 [本品は滅菌による機能低下のおそれがある。]

<使用方法>

血管系ラインには接続しないこと。[血管を通じて、経腸栄養ラインに投与されるべき経腸栄養剤が血管内に投与され、重篤な症状になる可能性がある。]

【形状・構造及び原理等】

<構造図>



本品のチューブにはポリ塩化ビニル（可塑剤：トリメリット酸トリ（2-エチルヘキシル））を使用している。

本品の接続ジョイント及び先端アダプタには ABS 樹脂（アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン共重合体）を使用している。

* 品種構成

コード番号	チューブ長	備考
PE-JC304ES	30cm	—
PE-JC604ES	60cm	ロングタイプ

*【使用目的又は効果】

本品は、胃瘻栄養用チューブ又は経鼻栄養用チューブなど、胃又は腸に挿入したカテーテル／チューブと連結して、栄養剤（食品を含む）又は医薬品を投与するために用いられる器具である。

*【使用方法等】

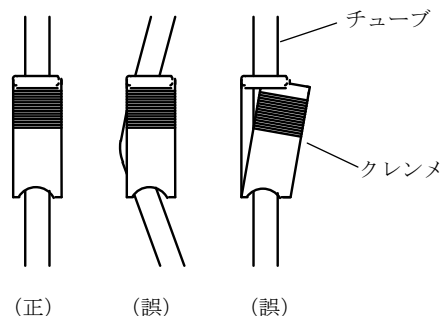
1. 本品を包装から取り出す。
2. 接続ジョイントを栄養剤等の容器の連結部に接続する。
3. チューブ内を容器の内容液で満たす。
4. クレンメを閉じる。
5. 先端アダプタを胃瘻栄養用チューブ又は経鼻栄養用チューブに確実に接続する。
6. クレンメを開け、投与を開始する。
7. 投与が終了したら、クレンメを閉じ、先端アダプタを取り外す。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

- (1) あらかじめ接合部（先端アダプタ及び接続ジョイント）に緩みがないことを確認してから使用すること。また、使用中は定期的に緩み、外れが無いことを確認すること。

(2) 接続の際は以下の事項を順守すること。

- 1) 過度な締め付けをしないこと。[接合部が外れなくなる、又は接合部が破損する可能性がある。]
- 2) テーパー部分に栄養剤等を付着させないこと。[接合部の緩み等が生じる可能性がある。]
- (3) 本品を身体の下等に挟まないこと。[チューブの折れ、閉塞、部品の破損などが生じる可能性がある。]
- (4) チューブを折り曲げたり、引張った状態で使用しないこと。
- (5) クレンメを閉じる際は、下図のように正しく閉じること。
[チューブの一部が閉塞されず、気密性が保たれない可能性がある。]



【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

- (1) 本品は未滅菌ディスポーザブル品である。清潔領域では使用しないこと。
- (2) 使用中は本品の破損、接合部の緩み及び液漏れ、詰まり等について定期的に確認すること。
- (3) チューブを鉗子等でつまんで傷をつけないこと。また、注射針の先端、はさみ等の刃物、その他鋭利な物等で傷をつけないこと。[チューブに液漏れ、空気の混入、破断が生じる可能性がある。]
- (4) チューブ及びチューブと接合している箇所は、過度に引張るような負荷やチューブを押し込むような負荷、チューブを折り曲げるような負荷を加えないこと。[チューブが破損する、又は接合部が外れる可能性がある。]
- (5) 接続ジョイント及び先端アダプタにアルコールを含む消毒剤や溶剤を接触させないこと。[ABS 樹脂製のため、強度が低下し、破損する可能性がある。]
- (6) 接続ジョイント及び先端アダプタに、ひび割れが確認された場合は、直ちに本品を交換すること。
- (7) 本品を食品に適用する場合には、EJ タイプの容器の食品を使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

水ぬれに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

<有効期間>

使用期限は外箱に記載（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：テルモ株式会社

電 話 番 号：0120-12-8195 テルモ・コールセンター

